

2005年6月27日

京都大学未来フォーラム（第15回）を開催

時計台記念館・百周年記念ホールにおいて、恒例となった未来フォーラムが開催されました。15回目となる今回は、本学理学部の卒業生で文化庁長官・本学名誉教授の河合隼雄氏に「人間の科学について」をテーマでご講演いただきました。

臨床心理学者のパイオニアである河合氏は、生きている人間を科学研究の対象とする場合、大変難しいが、希望を捨てずに相手が話をしてくれるまで待つことが大切であり、そうすることによりその人から物語がうまれくる、心を開いて話をしてくれる、こうなれば信頼という関係ができカウンセリングもうまくできることを、これまでの豊富な経験からいくつかの例を上げながらユーモアをまじえ説明されました。そして、親子や友人などと良好な人間関係を作るためには、相手から物語がうまれてくるのを待つことが大切であることを強調されました。

